

第23号書式（第29条）

阪航工契 501 号

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件名 福岡航空交通管制部統合管制情報処理システム用配電盤設置その他工事

開札年月日 令和3年4月6日（落札決定日 令和3年4月22日）

入札執行官署 大阪航空局

落札金額 ￥60,500,000 -

落札者 三栄電気工業株式会社

予定価格 ￥68,827,000 -

積算額 ￥68,827,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥62,570,000 -

調査基準価格 ￥62,458,000 - 調査基準価格の100/110 ￥56,780,000 -

基準評価値 159.821

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評価点 (満点120点)	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	
三栄電気工業株式会社	112.0	55,000,000	203.636	○				落札
株式会社九電工	108.0	59,500,000	181.512	○				
彩備電気株式会社	102.5	56,500,000	181.415	○				
日本メックス株式会社	-	68,620,000	-	-				
栄共電設株式会社	-	75,000,000	-	-				
株式会社高砂電業社	-	75,000,000	-	-				
株式会社サン電工社	-	無効	-	-				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
※本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、
※令和3年4月22日に落札者を決定した。

工事名 : 福岡航空交通管制部統合管制情報処理システム用配電盤設置その他工事

大阪航空局

調査を実施した業者名、住所 : 三栄電気工業株式会社 東京都渋谷区東2-29-12

項 目	内 容
1. その価格により入札した理由	直接工事費については、過去に同種工事の経験がある自社の直営班が施工すること、自社保有機械による安全かつ効率的に作業を行うこと及び多数の現場で取引実績のある協力業者と取引をすることにより費用の低減が可能であるため当該金額にて入札を行ったため。
2. 契約対象工事附近における手持工事の状況	手持ち工事は4件あるが、配置を予定している監理技術者兼現場代理人の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は無く、技術者は専任で配置できることから、適正であると思料される。
3. 契約対象工事に関連する手持工事の状況	手持ち工事は0件で、配置を予定している監理技術者兼現場代理人の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は無く、技術者は専任で配置できることから、適正であると思料される。
4. 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との関連(地理的条件)	事務所兼倉庫が工事場所から近い位置にあり、交通費等を削減している。また、緊急時は元請業者、下請業者双方にて対応することとしている。
5. 手持資材の状況	手持資材はなく、今回工事において調達することとしている。
6. 資材購入先及び購入先と入札者との関係	長年にわたり取引がある業者から資材を調達することにより、廉価で購入することが可能であることを業者(資材販売店)の見積書により確認した。
7. 手持機械数の状況	ケーブル布設に使用するパワーボール(ケーブル中間送り機)、ラック用コロを自社で保有しており、損料計上が優位であることを提出資料により確認できた。
8. 労務者の具体的供給見通し	電気工事については、13人が自社のものを従事させるとしており、雇用関係は健康保険証の写し、施工等に必要資格は資格者証等にて確認したほか、重量物運搬等については協力会社である下請業者が行うこととしており、各工種別に労務者を適切に配置する予定であることを確認できた。
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	①那覇空港瞬時電圧低下補償装置設置その他工事 ②中部国際空港瞬時電圧低下補償装置設置工事 ③福岡航空交通管制部瞬時電圧低下補償装置設置工事(H28) ④福岡航空交通管制部瞬時電圧低下補償装置設置工事(H29)
10. 経営内容	財務諸表の数値から見て履行がなされないという状況は見られない。
11. 1から10までの事情聴取した結果についての調査検討	本件において、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について問題があるとはいえないことなどから、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。
12. 9の公共工事の成績の状況	過去に施工した公共工事を確認したところ、平成28～令和元年度において、電気設備工事として、国土交通省4件の施工実績があり、国発注工事の工事成績評定は平均77点であり、概ね適切な施工が行われているものと思料される。また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事はなかった。
13. 経営状況	非公表
14. 信用状態	①建設業法違反の有無 なし ②賃金不払いの状況 なし ③下請け代金の支払遅延状況 なし ④その他
15. その他必要な事項	